

令和6年能登半島地震 初動について①

1月1日	発災、津波警報発令 & 夜間のため県担当は登庁せず自宅待機
1月2日	県担当から石川県DWATチーム員へ派遣に係る事前連絡 & 派遣可否の調査発出
1月4日	厚労省、全社協、アドバイザーチームとオンライン会議（現状共有及び今後の対応を協議）
1月5日	<ul style="list-style-type: none">・石川県から全国へDWAT派遣要請・厚労省から派遣準備依頼及び全国へ派遣調整を中央センターが行うことの通知発出
1月6日	全社協、アドバイザーチーム石川県（県庁）到着 →県担当から現状報告（市町の派遣要請状況、1.5次避難所開設情報、活動方針検討） ※この時点で珠洲市、輪島市、1.5次避難所からDWAT派遣要請あり
1月7日	<ul style="list-style-type: none">・全社協、アドバイザーチームが七尾市へ状況確認のため訪問 →DMAT活動拠点本部（能登総合病院）、避難所を視察・翌日開所の1.5次避難所対応のための初動チームを決定（県外3人 + 県内3人） →石川県DWATは1/6時点で1/8～1月末までのシフトを組むことができた・今後の活動展開を決定 →①1.5次対応(1/8～)、②七尾市・志賀町(1/10～)、③穴水・能登町(未定)、 ④輪島・珠洲市(未定)
1月8日	<ul style="list-style-type: none">・1.5次避難所の活動開始（事前に県庁においてブリーフィングを実施）・七尾市で今後の活動開始に向けた具体の調整開始（京都DWAT）
1月9日	1.5次避難所において介護待機ステーションの設置（DWATが設置に係る助言等を実施）

令和6年能登半島地震 初動について②

1月10日	七尾地域でDWAT活動開始 →保健師と避難所を巡回、2チーム6名（京都2・静岡3・石川1）
1月11日	志賀町で今後の活動開始に向けた具体の調整開始（京都・静岡DWAT）
1月12日	七尾市で常駐支援を開始（中島小学校） →中島小学校を拠点に小規模避難所を巡回
1月14日	・志賀町で常駐支援を開始（富来活性化センター） ・1/18～の能登北部先遣隊の活動を計画
1月17日	小松市に1.5次避難所増設決定
1月20日	小松市1.5次避難所視察 →今後のDWAT活動展開を含め状況確認・・・要配慮者は当面入所しないことを確認
1月21日	能登北部先遣隊の活動結果から今後の活動方針を決定 →当面の対応 ① 1.5次の活動体制の安定化 ② 七尾・志賀地域の二ーズ再確認、チームの追加派遣 ③ 活動地域拡大に向けた受け入れ態勢（本部体制）の構築
1月22日	DWAT調整本部を設置し、組織体制の強化を開始 →千葉県DWATが本部で活動開始 ① 活動チーム情報の整理（メンバー、連絡先、活動場所など） ② 活動状況の把握・・・本部から現地へチームを派遣し情報収集を実施 ③ 今後の組織体制の検討（「地域リーダー」、全国への説明準備など）

初動時の課題、対応について

1. 被災県として発災初期にどのように動いたか。

2日に県内チーム員へ派遣に係る事前連絡及び派遣可否の確認を(メール)行った。

(経緯) 即応できるチーム員がどの程度いるかわからなかったため実施したもの。

(成果) 事前連絡を行ったことで、1.5次避難所へのスムーズな派遣(1/8)につながった。

4日に災害福祉支援ネットワーク中央センター(全社協)の声かけでオンライン会議を実施。県担当から現状報告と今後について相談。

(担当の当時の状況)

災害規模から全国への派遣要請が必要と認識していたが、方法・手順等がわからなかった。

(結果)

中央Cが他県DWATの派遣調整を担っていただけることがわかり、今後の派遣調整のイメージが共有できた。→ 翌日の全国への派遣要請文書発出につながった。

初動時の課題、対応について

1. 被災県として発災初期にどのように動いたか。

6日に中央C（アドバイザー・全社協）が来県。県担当から現状説明及び1.5次避難所開設の動きを説明。今後の活動方針の検討を行い、当面の対応について、方向性を決定。

（担当の当時の状況）

避難所が多数開設・多くの避難者がいることから、どの地域から派遣すべきか。石川県は派遣経験がなかったことから、派遣から避難所活動開始までの「活動の入り方」がわからなかったため、どのように展開すべきか困っていた。

（結果）

派遣活動経験のあるアドバイザーの方々の知見等を踏まえ、早期に当面の活動方針を立てることができた。

また、現地における見立てや他支援チームとの調整についても、アドバイザーが中心となって関わったことから、早期に必要なチームの派遣要請→活動につながった。

初動時の課題、対応について

2. 全国派遣の受入準備をどのように整えたか 全国派遣要請後に石川県で準備したものはどのようなものがあるか。

- ①派遣調整業務を行うための会議室（部屋の確保）※20人以上
- ②情報通信機器（携帯電話、PC、Wi-Fi）
- ③プリンター（インク含む）、延長コード（5～10本）
- ④車両の確保（レンタカー → 災害時無償貸付、ガソリン代（現金））
- ⑤大型ディスプレイ（またはプロジェクター&スクリーン）
- ⑥ホワイトボード、ライティングシート、マーカーセット、養生テープ

<石川県はどのように準備したか>

- ①：同じ部屋を長期で確保できなかったが、短期の帯で押さえることができた。
- ②：PCは県庁デジタル担当課へ依頼し手配（5台）、携帯電話・Wi-Fiはドコモから無償貸与（5台）
- ③：発災後購入 ④：当初レンタカー3台確保→トヨタ無償貸与3台へ切り替え
- ⑤：石川県庁会議室に常備（オンライン会議セット） ⑥：DWAT備品として準備済

初動時の課題、対応について

2. 全国派遣の受入準備をどのように整えたか 避難所情報や他支援チームの情報収集をどのように行ったか。

県庁舎大会議室でDMAT調整本部（後の保健医療福祉調整本部）が発災当初から立ち上がっており、避難所情報や県内で活動している支援チームの状況をそこから入手した。

→日赤、DPAT、JRAT等も同会議室で活動。DWATも同じ会議室で活動を想定していたが、スペースが確保できなかった。

（県担当はもともとDMAT担当も経験しており、そのつながりでスムーズに情報収集ができた。）

「モノ」や「情報」については、発災前から災害を想定した事前準備が必要（どこから、どのように）

多数地域・複数チーム同時派遣時の調整について

本部体制の整備や運営について

多数のチームが一つの組織としてDWATが活動する際に、まず初めに取り組んだことは。

- 2月以降DWATの追加派遣や活動地域の拡大を図る必要があり、その活動を統括する本部体制の強化のため、DWAT1隊を本部に配置した。
- 初めはシフト等の隊員情報の整理（戦力の把握）、本部チーム員の現地派遣により、現地最新情報（今後の見通し）を整理した。
- 同時に、指揮命令系統を確立し、あわせて本部と現場（避難所）チームをつなぐ「地域リーダー」を各地域に配置した。
- 隊員情報の管理や現地情報を把握が進み、追加派遣や活動地域拡大の検討などのDWAT（組織）全体の方針を検討及び実行できるようになった。
- 地域リーダーを中心とした活動を展開することにより、地域全体の活動状況の見立てを含めた内容について本部との情報共有が可能となったほか、活動経験のないチームへのフォロー体制もとることが可能となった。

多数地域・複数チーム同時派遣時の調整について

本部体制の整備や運営について

本部という新たな体制や地域リーダーを導入する際に苦慮した点は。

- 本部という「新たな体制」や「地域リーダー」について、あらためて全国の事務局を通じて伝達（オンライン会議）を行った。
- 地域リーダーを体制として開始した（2/1～）初期の頃は、地域リーダーを担っていただいた府県、各都道府県のチーム員とともに体制の認識がなかなか浸透せず、想定していた情報が本部に集約されないなど、全国のDWATの意識統一に時間を要した。
- ある程度見通しを立てて全国へ派遣要請を行っているものの、現場の状況が短いスパンで変わり、それに応じてDWATのニーズも変化することになった。それに対応するため、ニーズの高い地域への配置変更や追加派遣の依頼などの調整に時間を要した。

今後に向け現時点で見えてきた課題等

全国が一つの組織として活動することについて

- 全国規模の派遣を想定した手順やルール（DWAT調整本部の概念など）の確立及び研修や訓練の実施
- 都道府県職員及び社会福祉協議会等の役割

チーム員が身に着けるべき知識について

- 行政、社協、他支援チームとの関わり方
- 各種復興時に立ち上がる事業（被災高齢者等把握事業、被災者見守り相談支援事業）に対する理解
- チーム間の引き継ぎの方法や適切なシフトの重ね方

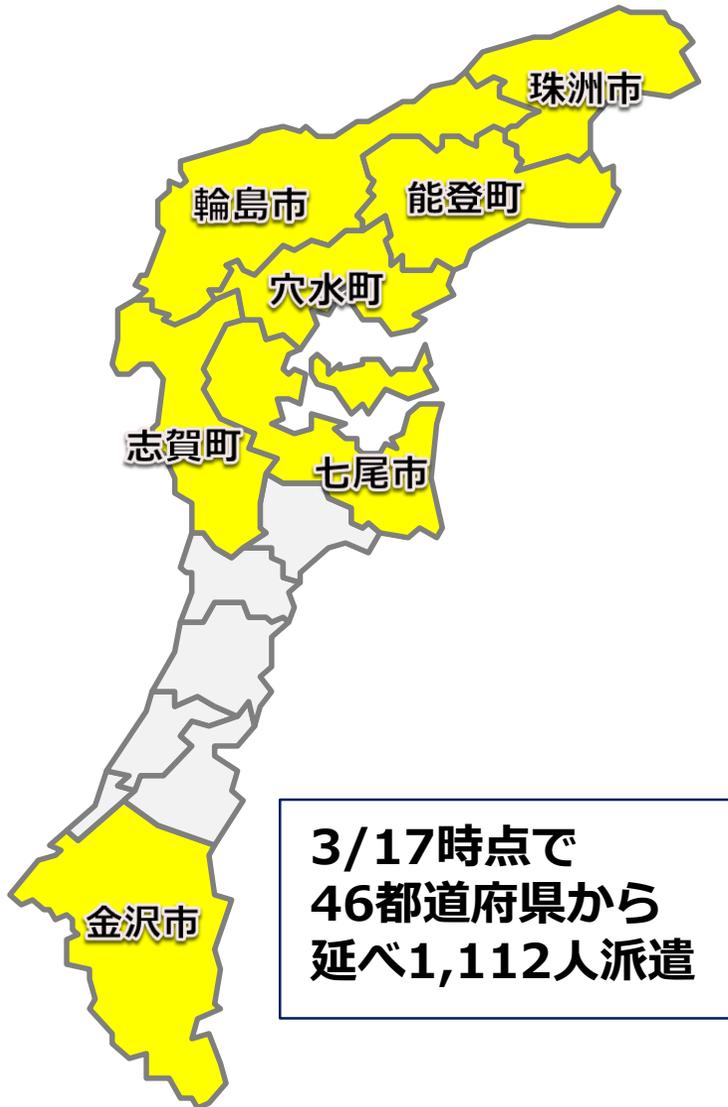
活動終了を見据えた地域への引継や本部の地元移行

- 要配慮者の対応を地域へ引き継ぐことによる活動終了（避難所閉鎖≠活動終了）
- 活動体制の縮小に伴う本部機能の地元移行の検討

災害派遣福祉チーム(DWAT)これまでの活動

◆活動展開 ※太字下線は活動中

1月1日発災、1月5日全国へ派遣要請



1月8日	金沢市	常駐	1.5次避難所	
1月12日	七尾市	常駐	中島小学校	2/16活動終了
1月14日	志賀町	常駐	富来活性化センター	3/16活動終了
1月14日	能登町	常駐	避難所等の環境整備等	2/29活動終了
1月16日	七尾市	常駐	御祓地区コミュニティセンター	2/21活動終了
1月18日	七尾市	巡回	西湊地区コミュニティセンター	2/16活動終了
1月18日	能登北部	巡回	2市2町先遣隊派遣	1/20活動終了
1月24日	志賀町	巡回	文化ホール(2/29~巡回)	3/16活動終了
1月25日	七尾市	巡回	和倉小学校(3/6~巡回)	3/16活動終了
2月1日	七尾市	巡回	矢田郷地区コミュニティセンター	2/28活動終了
2月2日	志賀町	巡回	地域交流センター	3/16活動終了
2月5日	七尾市	巡回	山王小学校	3/16活動終了
2月8日	志賀町	巡回	富来地区避難所	2/8活動終了
2月17日	輪島市	巡回	輪島・門前地区避難所	2/21活動終了
2月22日	輪島市	常駐	輪島・門前中学校	3/16活動終了
2月25日	穴水町	巡回	一般避難所巡回	2/29活動終了
3月1日	輪島市	常駐	鳳至・大屋小学校	3/16活動終了
3月9日	珠洲市	巡回	一般避難所巡回	
3月17日	輪島市	常駐	一般避難所(6カ所)	

石川DWATクレド(信条)

The Seven Promises of ISHIKAWA Disaster Welfare Assistance Team

～ 石川DWAT 7つの約束 ～

誠実

Sincerity

信頼

Confidence

謙虚

Modesty

連携

Cooperation

地元主体

Community centered

思いやり

Consideration

心を一つに

One Team



石川県災害派遣福祉チーム